

埼玉ウーマンズカフェ

日時 令和4年7月19日(火) 15:00～17:00
場所 M,s SQUARE (武蔵野銀行新本店 2階 地域創生スペース)
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、武蔵野銀行
後援 埼玉県、埼玉中小企業家同友会(女性経営者クラブ・ファム)、
(公財)埼玉県産業振興公社(創業・ベンチャー支援センター埼玉)、
さいたま商工会議所(女性起業家ネットワーク CCS)

テーマ 持続可能な健全経営 ～長く地域に必要とされる会社へ～

■講演「企業として生き残っていくためのビジネスモデルの検討」

講師 丸越運輸倉庫株式会社 代表取締役 上野 広美 氏

「持続可能な農業のために」

講師 山口農園 代表 山口 由美 氏

■パネルディスカッション

パネリスト 丸越運輸倉庫株式会社 代表取締役 上野 広美 氏

山口農園 代表 山口 由美 氏

ファシリテーター 埼玉県よろず支援拠点(埼玉県産業振興公社)コーディネーター 近藤 美恵子 氏

■グループディスカッションおよび質疑応答

今回の埼玉ウーマンズカフェは、武蔵野銀行新本社 2階の素敵なスペースで、ハイブリットにて開催されました。上野氏、山口氏のお話は、実践に基づいた持続可能な経営は何をしたら良いか？人材採用、育成は？など、具体的な内容でした。以下に紹介いたします。

上野氏の講演より

OLだった上野氏が父の会社を承継することになり、何を言っても聞き入れてくれない社員、財務の弱さ等々、空まわりの日々でした。そんな時に「異業種から入った自分だから出てきたアイデアを形にしたい」と埼玉県の経営革新にチャレンジして、以後 5 回の経営革新計画の承認を受けました。その中の一つ(ビジネスモデル企業になった)運送会社が提供する美味しいお米を始めました。今まで見ることが出来なかったお客様の喜びの声を社員も実感できて、社員のやる気やモチベーションにもつながりました。常に地域、社員の未来を考えて行動する上野氏のお話には経営のヒントが満載でした。

山口氏の講演より

嫁いだ先の義父の手伝いから農業生産者になり「どうせ農業をやるなら楽しく、私らしく」と女性の発想力、ネットワーク力、消費者、生活者目線を活かして、お客様の顔が見えるワークショップや大手スーパーや百貨店等への出店、メディア出演等をフットワーク軽く行っています。また新たな発想から新商品開発(万能梅みそなど)や高校、大学との連携し、学生と一緒に梅について考える等も行っています。地場産品である梅を地域の人を巻き込み、梅の可能性を広げる山口氏の思いが伝わるお話でした。「違った視点で、明日やろうはやめよう、今やろう」と生き生きと話された山口氏の言葉が印象的でした。

パネルディスカッションでは「持続可能な経営とは？」「SDGsってなんだと思う？」「異業種からの苦労は？」「会社を継ぐ立場、継がせる立場について」など、ディスカッションが行われました。

最後に各グループで、2人の講演をお聞きして、「ブランディングのやり方」、「自分の常識が非常識」、「社員に楽しそうに見せる」、「いろんな人の力を借りる」など、今回の講演会、交流会からそれぞれが経営のヒントを得ることが出来ました。

(ミライフウマン 岩見真里子)